

【10月のテーマ】 ナメクジってなにもの？

案内人：石原直子・伊東茂子（鳥の博物館市民スタッフ）



▲ 手賀沼周辺でよくみられるナメクジ。写真の個体は種名も「ナメクジ」です。

ナメクジは、嫌いな人も少なくはありませんが、観察すると興味深い世界が隠されています。カタツムリと違って貝殻が無いと、生活は大きく異なります。カタツムリは殻の中に入ることによって乾燥から身を守りますが、ナメクジは乾燥に弱く、夜間や雨の日に活動します。カタツムリとナメクジを探しながら比べてみることで、彼らの違いを実感してみましよう。

2022年10月8日（土）

車や自転車に注意しましょう。水田や私有地では、マナーを守って観察しましょう。

手賀沼周辺で一般的にみられるナメクジ2種



ナメクジ（在来種）



チャコウラナメクジ（外来種 北アメリカ原産）

カタツムリが殻をなくす方向に進化したのがナメクジです。チャコウラナメクジは、背中に殻の名残のコウラ（白い矢印の部分）があるのが特徴です。

手賀沼周辺で見られる 中～大型のカタツムリ



ミスジマイマイ



ヒダリマキマイマイ

ナメクジがよくいる場所



写真提供：石原直子氏

狭い隙間に入り込み、晴天時は木の幹の隙間によくいます。銀色の這った跡（ピンク色で囲んだ部分）が目印です。